

“現場覚え”の技能の特徴に関する考察（第一報）

～CO₂ 半自動溶接技能クリニックにおける技能診断をもとに～

研究担当者

基礎研究部

訓練適応研究室

下山敏一

序 文

公共訓練施設における向上訓練は、昭和46年から実施され、大きく発展してきた。この向上訓練の持つ重要な機能に“とらえなおし”の教育機能がある。現場覚えの技能に、理論的な裏づけを与えたり、我流を修正したりすることによって、OJTで自らの職業能力を身につけてきた労働者に自分の職業能力を見直させ、次の飛躍的な能力向上のステップを与えるというこの“とらえなおし”の教育機能は、当センターが、多くの向上訓練担当者の協力を得、研究、開発してきたもので、向上訓練教育体制の根幹をなす教育機能と言えるだろう。

本報告は、この“とらえなおし”の教育機能の発展のために、受講者がそれまで身につけてきたいわば“現場覚え”の技能の特徴を明らかにしようとする試みである。今まで行われてきた“とらえなおし”の向上訓練の受講者診断資料から受講者の特徴を捉える試みがなされている。

本報告が、向上訓練の推進に少しでもお役に立ち、向上訓練担当指導員の方々から御助言をいただければ、研究担当者にとって無上の励みになると思います。

平成元年3月

職業訓練研究センター

所長 多賀谷敏夫

訓研調査研究報告書 第49号

“現場覚え”の技能の特徴に関する予備的考察（第1報）
～CO半自動溶接技能クリニックにおける、技能診断
をもとに～

発行 1989年3月

発行者 職業訓練研究センター
所長 多賀谷 敏 夫
〒229 神奈川県相模原市相原1960
電話 0427-61-9911（代）

印刷 (株)相模プリント
相模原市橋本1-14-17
電話 0427-72-1275

※ 禁、無断複写